



食品リサイクルによる発酵リキッドフィーディングの開発

食品残さ(廃棄物)を活用した「発酵リキッドフィーディング(発酵させた液体状の飼料)」を開発。食品リサイクルによるエコフィード(食品廃棄物を活用した飼料)は受け入れ、生産ともに増加しており好調である。

本業の動向について

食品リサイクルによるエコフィード(食品廃棄物を活用した飼料)製造事業を主要業とする。事業全体としては受け入れ、生産ともに増加しているので好調であるが、収支としてまだ若干の赤字となっている。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
畜産草地研究所

所在地

茨城県つくば市池の台 2

連携内容

食品残さ(廃棄物)を活用した発酵リキッドフィーディング(発酵させた液体状の飼料)の開発。

連携した動機やきっかけ

公設試験機関側からのアプローチがあったため。

連携の効果

民間だけでは時間やコストがかかる研究をやっていた。ただいた。

連携して最も効果のあったこと

発酵の特性や酵素の使い方等のソフト部分の解明が効果的だった。

連携して最も困難だったこと

特になし。

連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては時間と労力の節減につながる。デメリットとしては研究成果が全て公表されてしまうこと。

連携に際しての注意、アドバイスなど

コーディネーター的な人材が研究機関に、いるか、いないかで連携のしやすさが変わってしまう。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

研究者はいるが、民と官をつなぐコーディネーター的な人材や機関が少ないので、そのような人材の育成を望む。

会社概要

設 立 : 1966 年(昭和 41 年)11 月 1 日

資 本 金 : 8,000 万円

従業員数 : 1,307 名

U R L : <http://www.odakyu-bs.co.jp>